



平成 2 9 年度
外国人留学生後援会実施事業報告

目次

1. 留学生研修旅行の実施について	1
研修旅行参加者感想文	2
2. 春季新入留学生歓迎会について	15
3. 秋期新入留学生歓迎会について	16
4. 生活資金貸与について.....	17
5. 外国人留学生後援会奨学金について	17
6. 留学生住宅総合補償加入金の補助について	17
7. 平成29年度の会費収入と使途について.....	18



1 留学生研修旅行の実施について

今年度の留学生研修旅行は平成 29 年 12 月 2 日（土）に開催し、留学生 16 名が参加しました。「福島環境を学ぶ旅」というテーマで、高柴デコ屋敷（郡山市）、コミュタン福島（三春町）、アクアマリンふくしま（いわき市）を訪問しました。

最初に訪れた「高柴デコ屋敷」では、張子人形の絵付け体験を行いました。干支にちなんで犬型の人形に、参加者は思い思いに絵付けをしてオリジナルの張子人形を完成させました。次の訪問先である「コミュタン福島」では、福島環境の現状や放射線等について、展示や映像を見て学びました。中でも、360°映像が投影される全球型環境創造シアターでの映像鑑賞は、参加者にとって印象に残った体験の一つとなりました。

その後いわき市へ移動し、「浜風きらら商店街」にて昼食をとった後、語り部から東日本大震災や津波の話を聞きました。最後に、「アクアマリンふくしま」を訪問し、館内を自由に見学しながら、それぞれに好きなスポットで写真撮影をしたり、気に入った生き物を観察したりして楽しんでいました。



高柴デコ屋敷



コミュタン福島



浜風きらら商店街



アクアマリンふくしま

【氏 名】 ギェルゲ・ガブリエラ・コスミナ ルーマニア

12月2日に研修旅行に参加して、留学生の皆さんと一緒に素晴らしい時間を過ごしました。天気も良かったし、行われた活動も非常に興味深いものでしたし、すべての訪問した場所から新しいことを学ぶようになりましたので、目覚ましい経験で、参加したのは良かったです。

12月2日の朝、皆さんは福島大学に集まって、出発してから、最初の目的地に到着するまで、旅行ガイドに旅行の計画を提示されました。最初のは郡山市にある高柴デコ屋敷でした。この場所では三春人形の絵付けを体験する機会がありました。白くて塗装されていない人形をいただいて、好きな色相を使って、自分でオリジナルな絵柄を描くことができました。終わってから、皆さんは自分で塗装された三春人形を持ち帰ることが許されました。残念ながら、研修のポイントはまだまだたくさんあったので、高柴デコ屋敷に多くの時間を過ごすことができませんでした。

次の目的地はコミュタン福島という環境創造センターでした。東日本大震災による影響についてたくさん教えてくれて、福島自然环境や放射線などについて学習できました。また、ドキュメンタリー映画を見せてくれた時、映画が映写された部屋の構造に驚きました。部屋は丸い形をしていて、真ん中にある橋に立てたまま映画や説明を楽しめました。どこを見ても、ドキュメンタリーで示されたイメージに囲まれていましたから、経験は本物のように感じました。それに、入り口の近くにあるユニークな広告版に感銘を受けました。これは2011年3月11日14時46分からの経過時間を表すクロックです。東日本大震災からの時間だけでなく環境の回復と創造に費やしてきた時間も表していると教えてくださいました。

コミュタン福島を出発してから、いわき市へ移動しました。浜風きらら商店街に着いた後、食事をして、語り部の方に津波や原発事故の被災体験のお話を聞かせてもらいました。事故があった時の撮った写真を見せてくれて、現場に連れて行ってもらったから現在の状況と過去のを比べて、改善と回復のための努力を理解することができました。最後に、午後3時頃にアクアマリンふくしまという水族館に到着しました。色々な魚を見て、写真を撮たくさん撮って、一緒に楽しい時間を過ごしました。つまり、疲れた日の後、リラックスもできました。16時40分頃にアクアマリンふくしまから出発して、福島大学に無事に戻ってきました。

私にとって、研修旅行は本当に素晴らしい経験でした。楽しみながら新しく面白いことをたくさん勉強できました。

【氏名】イヴァーディ・グレータ ハンガリー

十二月二日、私は留学生たちと一緒に旅に出ました。十二月になってきたところで、天気も悪くなった数日があって、みんな心の中に天気のことを抱えてながらバスに乗ったと思います。バスが高速道路を走りながら、私たちの親切な案内人はこの地域の話をしていました。天気が浜通りに行けば、もっと暖かくなると説明してくれました。確かにそうでした。出発からまだほとんど時間が経ってなかったところで、大空に太陽が出てきて、一日中私たちを照らしてくれました。

そして9時ごろ最初の行き先にやっと着きました。それは高柴のデコ屋敷でした。正に日本の伝統的な風景でした。大きな天狗の仮面と色々な形の三春の張子人形、それを眺めながら、職人の人から三春張子人形の歴史についても色々な話を書かせていただきました。そして最後に自分でも三春人形の絵付けを体験しました。荒削りの感じになってしまったけど、本当に素晴らしい経験でした。



デコ屋敷を置いておいたら、次にコミュタン福島のところを目指しました。そこで東日本大震災について、そしてその後の環境の復活について、色々な話を書かせていただきました。そして全球型の環境創造シアターの中で360°の映像の体験もできて、とても素晴らしかったです。



そこから次の行き先はいわき市の浜風きらら商店街でした。そこでとても美味しい昼ご飯を食べた後で東日本大震災のときに津波に流された久ノ浜地区の話を聞かれました。実際に経験した人からの話で、大震災を想像するだけでも恐ろしかったです。海を眺めながら見た美しい風景、けれどもそこに隠れる悲しみもありました。昔、家がたくさん並んでいた浜辺に今はほとんど家がありません。

その代わりに町が木を植えて、いつか町の盾になると願っているように。悲しいところもあったけど、とても心に残っていた時間でした。

そこから最後の行き先に向かっていました。それはアクアマリンふくしまという水族館のところでした。ここで見たこともない海の生き物たちの鮮やかな姿がとても面白くて、非

常に微笑ましいだと思いました。展望台からの景色もとても綺麗で、特に橋本のところが面白くて、行き先がなくて、永遠に続いているような感じがしました。

帰った時にはもうとっくに日が暮れてしまいましたが、とても充実した一日でした。



【氏名】オウ・チョウヨウ 中国

12月2日午前8時、私達の乗ったバスは出発しました。

まず、「高柴デコ屋敷」に着きました。そこには、様々な三春駒がありました。説明を聞いた後には、三春駒それぞれに違う意味があることがわかりました。その後、私達は三春人形の絵付け体験をしました。十二支の中の「犬」の色を慎重に塗りました。すごく可愛いです。どんな風に塗っても良いものに仕上がると思いました。民芸をもっと理解してみたいとも思いました。

次に、私達は「福島環境創造センター」に行きました。そこでも色々な体験をし、未来を思い描きました。放射線や再生可能エネルギーに関することも学習しました。

その後、「浜風きらら商店街」に行きました。そこで、東日本大震災が発生した時の状況や震災後の復興についてたくさん理解しました。

最後に、私達は「アクアマリンふくしま」に行きました。そこで色々な海洋生物を見ました。違う環境で生活する海洋生物は可愛くて活気に満ちています。これらの可愛い生命のためにも、これからも環境保護が必要だと思います。

【氏名】 ヴー・バン・フー ベトナム

留学生研究旅行というイベントに参加して、福島環境を学びながら意義のある1日を過ごすことが出来たと思います。

その日の最初は郡山市にある高柴デコ屋で絵付けの体験をしました。あまり上手に出来なかったがとても楽しい体験でした。次にコミュニティ福島で360度の区間で映像を見たり、東日本大震災の映像を見たりしました。また東日本大震災当時の新聞などもあって、映像で地震が発生してから、これまで復興してきた福島を見て、鳥肌が立つくらい、本当に感動しました。



次に久之浜・浜風きらら商店街で美味しいお昼ご飯を食べました。ちなみに私は海鮮丼を食べました。美味しかったです。そのあと実際に被災者は当時の被害があったところに連れて、当時の状況を語ってくれました。

当時にみんながどれほど苦労したか少し想像できました。そして、久之浜を後にして、最後にアクアマリンふくしまで水族館に入って、たくさん種類の魚を実際に見ました。とても良かったです。

研究旅行を通して、色々な体験をして、福島伝統的なものに触れることができ、嬉しかったです。そして、東日本大震災について、新たに知りました。また、バスの中で福島の地図、福島の美味しい食べ物、そして福島のことを説明してくれまして、たくさん勉強になったと思います。貴重な1日を過ごさせてくれて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また来年も参加したいと思っています。



【氏名】 ユ・ブンキ 中国

先週、学校の先生が私たちを連れて海洋館に案内しました。海洋館は非常に大きく、多くの海洋生物があります。私が一番好きなのは、アザラシを見ていると、アザラシを飼っている人を見ることが大好きです。とても面白かったです。そして、東日本大震災で津波が発生した場所を見学しました。災害は福島人民に重い打撃を与えた。しかし、福島第一国民は希望を放棄していないまま、楽観的にしている。災害の後再建作業は一糸の無い行いをしている。みんなの努力のもとで、福島はすでに災害の影を抜け出した」と話した。生活はますます美しくなった。今回の修学旅行で、私は福島への愛情がまた増えた。本当に福島にいたいな！

【氏名】コシラン 中国

私は2011年の東日本大地震を中国のメディアで見た。海の近くのすべてのものが流されていた。その中に人もいるのではと思っていた。自然地震と津波の恐ろしさを初めて理解した。その時から5年後の2016年に私は福島大学の学生として福島で生活することは私の夢の中でも現れなかった。だから、福島にいる間にぜひ震災後の現状を一度見に行きたいと思っていた。そんな気持ちを抱きながら今回の研修旅行に参加した。

バスが目的地に着くと私達はバスから降りた。青い空に薄い白雲が漂っていた。その下に新築の商店街と住宅が並んでいた。震災の足跡は全然見られない。日本の経済力、復興の速さ、そして福島の元気は、その風景を見たすべての留学生に伝わったろう。しかし、私に伝わったことはそのような事柄ではなかった。

人間は高等動物の一族であり、長生きする動物である。長く生きるために私達は痛みを脳の働きによって感じ、それを記憶して自分の器官や体を守るのである。その反対は昆虫である。昆虫の生命は短期間であるため痛みを感じず、数の多さで類を後続させるのである。前述の例は、ただ諸個人の場合であるが、もし一国家全体についてならばどうなるであろう。その場合、諸個人の脳の働きと同じ機能を担うのは政府である。政府とは、諸個人にとって善なるもの・徳なるものために存在する組織であって、決して少数の人々の利益のために存在するものではない。福島第一原子力発電所事故は一国家のエネルギーという器官に与えた痛みである。この痛みを脳である政府が記憶し、国家全体の善・徳を守るように判断するのである。しかし、そのようなことは全然見られなかった。エネルギーを大切にするという教育はどこでも行われていないし、さらに審査をできるだけ緩くして、できるだけ原発を再起動させようとしているのは政府であろう。さらに、これは日本だけの問題ではない。世界中の原子力を使用しているすべての国々に共通する問題である。資本主義国家・市場経済国家の政府とは痛みを感じることもない昆虫のような器官であり、または資本主義という鉄の壁でできている経済の仕組みの中で政府という存在は微小なものであり、資本主義というモンスターに対して何もできないということを改めて強く感じた。

【氏名】スタンチウ・アンカ・エレナ ルーマニア

12月2日は晴れても寒かったです。朝早く起きて、早く研修旅行に出発しました。いわき市の旅行について聞きました、もうすぐ興味がありました。いわき市は太平洋岸に位置しているから、日本に来たからいつもこの場所に見てみたかったです。

最初は、郡山市の高柴デコ屋敷の彦治民芸に参加しました。あそこで、張り子人形を描きました、デコ屋敷の歴史について学びました。とても面白くて、楽しかったです。特に人形を描くことは楽しかったです。来年は戌年ですから、犬人形を描きました。私はあまり多才ではないけど、最後まで頑張りました。

そのあと、福島未来について講義に参加しました。東日本大震災の前と後を比べると、福島に全部変わったと思いました。でも、皆は力を合わせて、福島未来のために毎日働きます。その理由で、ほとんど明るい未来が作られています。

しかし、一番印象付けたことは久之浜の語り部さんです。話を聞きながら、もう少し泣き出しました。東日本大震災の写真を見て、本当に感動しました。もちろん、旅行の前に写真を見ましたけど、本物を見て、話を聞くことを比べると、本当に違います。災害の後、人々の話は一番大切なものだと思います。



最後に、いわき市のアクアマリンふくしまに行きました。時間は少し短いと思いましたが、アクアリウムはとても美しかったです。風景も素晴らしかったです。いろいろな魚と海の動物を見て、本当に落ち着いた。人気があるけど、アクアリウムはとても静かなところと思いました。そしてその日いろいろなところに行って、いろいろなことを学んでから、とても疲れしました。ですから、そんな静かさは重要だと思います。残念ながら、アクアリウムは全部見えなかったです。もう一度いわき市に行きたいと思います。



研修旅行はとても面白くて、楽しかったです。この旅行に行くチャンスがあった、心から感謝しております。

【氏名】タイ・バン・タン ベトナム

今度、福島研究旅行に参加できたら良かったと思っている。今まで、半年ぐらい福島に住んだのに、一回でも福島に旅行したことがなかった。今度、他の留学生と旅行会社の観光ガイドと一緒に行って素晴らしい旅だった。

朝、8時頃に皆学校に集合して、出発する予定だが、私は電車が間に合わなくて・遅刻してしまった。しかし、皆が待ってくれて、最初の予定より20分遅く出発した。皆さんに迷惑かけて本当にすみません。

最初、バスの中に観光ガイド者が今日の予定を教えて、その後行く所を一つ一つ紹介してくれた。その後一時間ぐらい郡山市の西田町という観光地に到着した。そこに日本の伝統的な人形を作られている場所だ。私たちは人形を作る芸者の家に来て、最初本当に自分もびっくりした。いえに人形ばかりで上にたくさん古い溶けなどかけて古風な雰囲気みたいと感じた。その後、芸者から人形の起源や作り方など教えてもらった。後は私たちも自分で犬という人形を作った。自分が好きな色、好きな姿で描いて楽しかった。ここは皆と話したり、写真撮ったり本当にすごく楽しい時間だった。



次の予定は福島に原発の影響されている所に行った。ここにその所の人から原発のことを聞いて、話して、いろいろなことがわかった。今まで、新聞やテレビなどで情報をとってそれは足りないとわかった。この先生から、最初の地震起きて津波がどのように来るのか、原発どのように起きたのか全て聞いた。ここに住む人の大変なこと、困ること、避難する背景などを聞いてじぶんがすごく感動して、ここの人たちと同感できた。原発起こった後皆どのように頑張って福島を復興するのか、最初の状態に戻すため、何をしたのか全部話した。本当にふくしまの人たちの精神に敬慕した。実際の原発起こる前の写真と今の状態を見て、いがいと思って、皆がとても頑張って復興している。

昼ごはん終わったら私たちはいわき水族館に移動した。この前にテレビ見て、原発起こる時いわき水族館も影響されたとわかった。実際に来たら、前の状態に大体直した。ここに皆と遊びながら、福島の水産の特徴を学んでいった。素晴らしい時間だった。4時半ぐらいに皆バスに乗って帰る。



今度、福島研究旅行に参加したら、福島のことをもっと納得できると思い、またこの旅のおかげで、他の国の友達ができて本当に良かったと考えている。いつかそういうチャンスがあればまた参加したいと思う。

【氏名】パタキ・アネット ハンガリー

今年の12月2日、留学生のみなさんと一緒に福島県をよく知るようになるトリップに行きました。このトリップに参加しながら日本の文化にも少し近づいたし、災害被害者の気持ちを教えてもらったし、福島県の人気なところに行ったし、いろいろな体験できて感謝しています。

トリップといえば、まず高柴デコ屋敷というところに行きました。この前、一回こんなところに行ったことありましたが、そのとき来年の犬より自分のゾディアックを描いて、今、その二つがあります。



コミュタン福島は発揮もよく分かれるし、綺麗な映画も見られるし、福島原発事故についていろいろ勉強できる場所だと思います。こんなセンターがあることはよかったです。ちょっと後のいわき市で出会った女の人の話はすごく感動してしまいました。知り合いの人もたくさん亡くなって、自分の命や家族を守らなくてはいけない場合になれば大変ですね。いわき市は津波に結構被害されましたけど今、事故の後数年で街を一生懸命復興していたからまたうまくいく街に見えます。

福島県の人気なところであるアクアマリン福島もいわき市の成功を見せます。2011年で津波や地震が来て、ガラスが壊れて、魚はよく死んでしまいましたけど、全部直したり、魚をまた買ったり、人々はアクアマリン福島で時間を過ごして楽しめます。これは一番いいだと思います。こんな大きで、シンボリックな建物の立て直しは人々にも希望を感じさせます。

外国人として、いや、地震も津波もない国から来た私として、2011年で起こった災害の酷さを創造しにくいですが、こんなトリップに行くと、場所とか被害やもう直したところを自分の目で見て、そこに住んでいる人の話を当所に聞くことは福島県民の気持ちをちょっと分かることに大変必要なものだと思います。

私は参加させてくれて本当にありがとうございます。



【氏名】ファム・バン・ティエン ベトナム

12月2日に留学生研修旅行に参加し色々と勉強をしました。とても楽しい旅行でした。

12月2日の8時に福島大学の経済棟の前に集まり出発しました。最初に到着したところは高柴デコ屋敷です。高柴デコ屋敷は、全国的に有名な玩具の故郷でデコ屋敷と呼ばれ、4軒の家々が数百年の伝統を守り、張子人形や張子面、三春駒などを作り続け、今日まで伝えています。

二番目に到着したところは、三春町にあるコミュタン福島です。コミュタン福島では、福島の未来を考え、創造することをテーマにしています。ここでは、自分の目で放射線の形を見ることが出来ました。

その後、いわき市の久之浜に移動しておいしい海鮮丼を食べ、地元の住民の方から東日本大震災の話聞き、感動しました。

いわき市にあるアクアマリンふくしまにも行きました。色々な魚や海の景色を眺めました。

違う国から日本に来ている留学生メンバー達と一緒に話をしたりして過ごす、とても意味のある研修旅行でした。

【氏名】チン・バン・フー ベトナム

先週末(12/2)の福島大学留学生研究旅行に参加しているいろいろな所を訪問して楽しかったです。

前日の金曜日は天気が悪かったが、当日は天気が良かったです。遅れてしまって皆に迷惑をかけて本当にすみませんでした。最初に行くところは高柴デコ屋敷です。お爺さんが高柴デコ屋敷の歴史について話したり、踊ったりしました。そして、来年に良い年を迎えるため、皆は自分で犬の像に好きな色を付けました。

次はコミュタン福島に見学しました。自分が東日本大震災と放射線についてあまり知りませんでしたが、この機会をきっかけとして非常に勉強になりました。普通の生活の中で、食べ物や土地、空間にも放射線を含むことがわかりました。震災と原発事故の被害を受けた福島県はだんだん復興しています。



次は久ノ浜・浜風きらら商店街です。久ノ浜・浜風きらら商店街に到着したら、昼ご飯を食べました。朝から腹がへっているので、海鮮丼が美味しかったと感じました。それから、震災を経過したおばあさんが津波について話しました。

それで、アクアマリンふくしまに見学に行きました。水族館なので魚や海の生物が多いです。皆、話したり写真撮影をしたり、楽しかったです。

この研修旅行に参加して一番印象に残ったのはおばあちゃんの話です。福島のみなさんは災害に負けずに一步一步前に進んでいます。外国人の私たちは福島イメージが地震や放射線だと思っています。しかし、福島に住んでいます。いろいろな体験をして福島イメージが変わりました。全然怖くないし、安全に住めます。福島の皆は優しく親切です。そういうことなどを帰国する時に、友達や知人に伝えたいと思います。



【氏名】カフラ・ヒュセイン ドイツ

今回の12月2日に参加したいわき研修旅行について、印象に残った事を報告します。

まず築400年のかぶき屋根の店、デコ屋敷で三春駒に絵を塗りました。建物の中でおじさんが三春駒の歴史と作り方について説明してくれました。その説明は私には少しだけ難しく感じましたが、三春駒の芸術的な部分が私にはとても気に入りました。すべてが手作業で製作されているということ、それはいったいどれだけの時間がかかるだろうかと考えると私はとても感激しました。建物の中には古時計やカメラ、お面などがありました。そこには歴史の遺産が沢山ありました。それを見るとタイムスリップしたような気分になりました。このような博物館はドイツにもあるが、コレクションのようにこんなにたくさんあるものを見たことがありません。ひょっとこ踊りはとても面白かった。私はそれを前にインターネットとアニメで見ましたが、でも本物を初めて見ました。

次にコミュタン福島に行きました。そこには様々な新聞と情報がありました。時間と一緒にいつ何があったか整理されていてわかりやすかったです。その中にあった環境創造シアターは最高でした。もう一度来たいです。球体のシアターで床の下にも4メートルのガラスがありました。最初は映像に酔ったけれど、そこを出た後は最高の気分でした。また、展示物には今の放射線がどのくらいあるか、そして今何人避難しているのかが分かるようになっていました。そこには時計があって、2011年3月11日からの経過時間を示していました。ドイツには原発はないけれど、福島の事故を繰り返さないためには原発を無くすことはいい事だと思います。ただ、日本がもし原発をやめたときに、それ以外の方法で今使う電気を作ることができるか、それが問題だと思います。

その後、被災地の久之浜を見学しました。そこに行く前は、震災から6年経っているので、震災後に建てた建物は少し古くなっていると思いましたが、見たらまだ建物が去年作ったみたいに新しく感じられました。6年という時間は私には長く感じますが、実際はまだ最近のことであるのだと思いました。6年経って、人々はすでにその村に戻ってきていました。海岸の近くには小さな神社がありました。その神社は海岸の近くにあり、無くなっても不思議じゃないのに、残ってました。周りの建物は壊れていたのに、これは運命だと思いました。その村で作られている防波堤は5メートル程度の高さで延々と続いていました。そしてまだ完成しないで作っています。そのことに、住民が村へ戻りたいという気持ちを感じました。私たちはその村に住む女性にあいました。その女性は自分の経験を話してくれました。その人は津波が来たとき逃げたいと思ったけれど、妹を探しに行ったそうです。妹を見つけたかは覚えていません。お昼からあげ定食を食べましたが、とてもおいしかったです。昼食後、その人と一緒にバスでビデオを観ました。その津波に関するビデオは鳥肌がたちました。

最後にアクアマリン福島に行きました。ドイツにも水族館はあるけれど、こんなにきれいではないと思いました。テーマ別に分けられ、ショーもすこしありました。ただ、1時

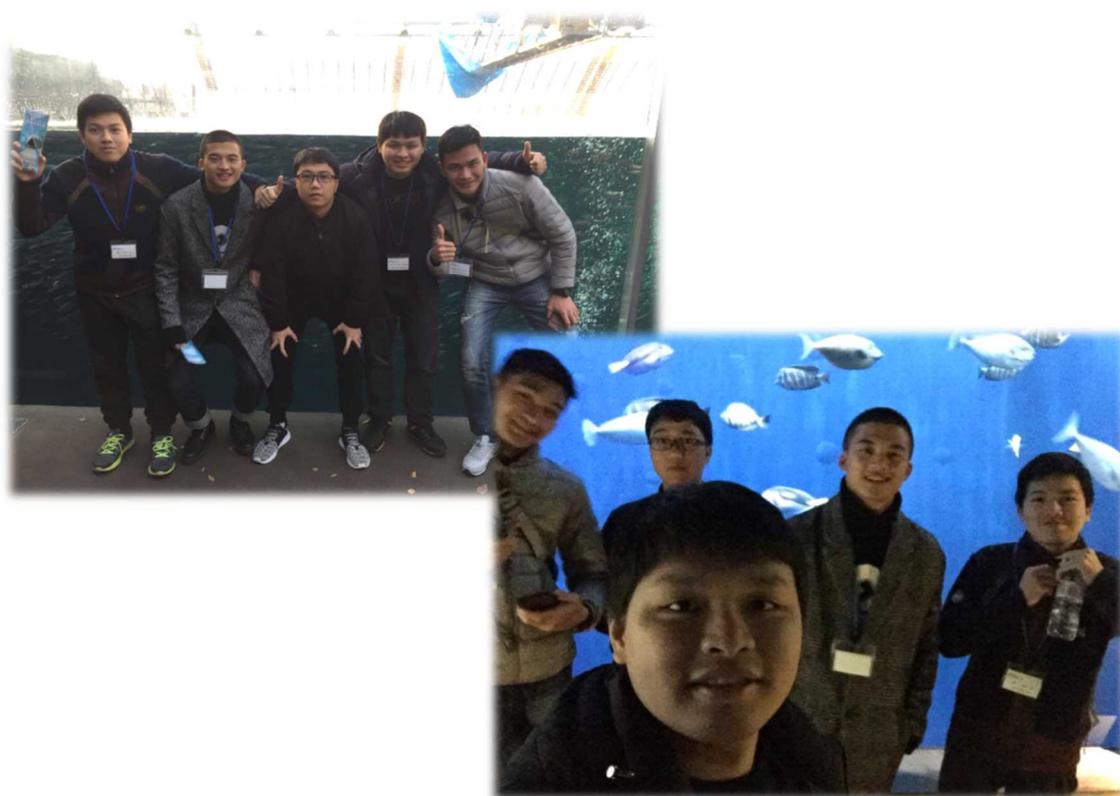
間半くらいしか見ることができなかったので、また行きたいです。アシカが一番かわいかったし、とても小さいクラゲのようなものは、よく見てみるときれいな構造が見えました。天井がガラス張りのところがとても美しかった。私は鴨と友達になって、「こんにちは。水は寒いか。」と聞きました。最後に景色のいい場所に行ってみんなで夕陽を見ました。

今回はとても楽しい旅行をありがとうございました。また行きたいのでよろしくお願いします。

【氏名】 ファン・フィ・チュン ベトナム

今回の研修旅行は福島環境を学ぶ旅行です。いろいろなところに行ってきました。その中で一番印象が残っていることはコミュタン福島で放射線と再生可能エネルギーについて学んだことです。今回の研修旅行を通して福島についてもっとわかりました。福島人は震災にあっても生き生き生活しています。福島の料理、福島環境も素晴らしいです。自分のFACEBOOKに福島の写真も載せました。ベトナム人と私の友達に福島のイメージを伝えたいです。そして、今回も初めて水族館に行ってきました。本当にきれいです。ほかの留学生も交流ができて友達もできました。よかったです。ありがとうございました。

福島へのメッセージ： 福島！頑張って！



【氏 名】ルカーチ・アデル ハンガリー

もう12月になりましたけど、天気はまだとても良かったので嬉しかったです。この日帰り旅行にたくさん所に行けましたが、私にとって一番楽しかったプログラムは下記です。

コミュタンと津波避難者の話は感動的でした。東日本大震災についての話はいつも聞きたいです。県民の気持ちを分かるようになりたいですから。コミュタンは原子力発電の事件を分かりやすく説明すると思います。このテーマについて興味がない人も楽しめると思います。コミュタンの壁に書いてあるコメントを読んで泣くほど感動しました。英語の説明があって日本語を話せない外国人もコミュタンを楽しめると思います。シアターもとても楽しかったです。被害者の話は信じられないほどでした。やはり家族が一番大切です。家族はそんな時にも何もかもできます。家族の力はすごいです。ちょっとホームシックになりました。私の家族もとても強いですけど、運よくこんな経験することがありません。

いわき市にある水族館に行ったことがありますが、津波の後で再建出来たのは私にまだ奇跡のようなことです。水族館の一番可愛かった動物たちはカワウソとフェネックギツネでした。海の動物ではありませんが、その二匹のフェネックギツネは縫いぐるみのように可愛かったです。チンアナゴのキーチェーンもやっと買いました。その可愛いチンアナゴが本当に好きようになりました。

この旅行はとてもいい体験になりました。福島についてももっと詳しく勉強になりました。参加させていただきまして本当にありがとうございました。この日の思い出は心に残ります。

2 春季新入留学生歓迎会について

実施日時	平成29年4月19日(水) 17:00~18:30
場 所	大学会館2階 クイックランチ「グリーン」
参加者数	57名

春季新入留学生歓迎会は、新入留学生15名のうち6名(中国3名、ベトナム2名、マレーシア1名)と、学生・教職員57名が参加しました。国際交流サークルCOLORsの進行のもと、多くの参加者と自己紹介をするアイスブレイキングで打ち解けた参加者は、積極的に交流を図り楽しんでいました。ギター弾き語りサークル「ハートフルスタジオ」による生演奏が披露され、歓迎会を盛り上げました。

当日は、強風の影響で電車が運休となったため、多くの学生が参加できなくなってしまいました。



新入留学生



歓談の様子



ギター弾き語りの演奏



集合写真

3 秋期新入留学生歓迎会について

実施日時	平成29年10月18日(水) 17:00~18:30
場 所	総合教育研究センター 特別教室
参加者数	72名

秋期新入留学生21名(中国10名、ハンガリー4名、ドイツ3名、ルーマニア2名、ベラルーシ1名、アメリカ1名)の歓迎会が開催され、学生・教職員約70名が参加しました。進行と企画を国際交流サークルCOLORsにご協力いただき行われ、参加者同士で歓談して楽しんでいました。後半に披露された居合道では、迫力の演武に参加者は釘付けとなりました。新入留学生からは「ここに来られて良かった。一年間良い思い出を作りたい。」という感想が述べられました。



新入留学生



歓談の様子



居合道の演武



集合写真

4 生活資金の貸付について

臨時に資金が必要となった留学生1名に、5万円の生活資金の貸付を実施しました。貸付金は翌月全額弁済されました。

5 外国人留学生後援会奨学金について

今年度は以下2名に奨学金を支給しました。【支給額：1人あたり月1万円（年間12万円）】奨学生は、学内外の国際交流イベントや地域交流活動に参加し、参加者と積極的に交流を図りました。

所 属	学 年	氏 名		国籍	性 別
共生システム理工学研究科 （博士前期課程）	1	王 雲龍	オウ ウンリュウ	中国	男
行政政策学類	1	徐 雲翀	シュ ウンチュウ	中国	男

6 留学生住宅総合補償の加入金補助について

留学生住宅総合補償制度を利用して、アパートに入居した留学生1名に対し、加入金の補助（2年間：3千円）を実施しました。

7 平成29年度の会費収入と使途について

平成29年度は、196名の会員の皆様に外国人留学生後援会に加入していただき、697,000円の会費収入がありました。(平成30年3月31日現在)

外国人留学生後援会では、会員の皆様から頂いた会費は、留学生に対して物心両面から援助することを目的とし、以下の4つの事業に活用させていただいております。

今後も皆様からご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

留学生への生活資金の貸与

(期限1年：最大5万円、貸付け前の審査有り)



交通事故や入院による急な支出が必要となった留学生や、勉強が忙しいため、アルバイトをすることができない留学生を支援します！

留学生への奨学金給付

『福島大学外国人留学生後援会奨学金』

(給付期間1年：月1万円、募集人員各年度5名)



奨学金支給対象者は、福島大学留学生の代表として、国際交流や後輩の学生生活支援に協力する義務があり、新入留学生のサポート作業などを行っています！

『留学生住宅総合補償』加入金補助

アパート入居時の保証人がいない留学生に対して行う機関保証



大学が機関保証をすることで、留学生がアパートの賃貸契約を行うことができます！

その他(留学生交流イベント等への費用助成)



費用補助をいただき、新入留学生歓迎会や留学生研修旅行を行っています！